



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
 コード番号 3646 URL http://www.ekitan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理管掌 (氏名) 柳 象二郎 TEL 03-6367-5951
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,457	△2.1	214	△18.1	215	△17.7	143	△16.3
2019年3月期第2四半期	1,489	—	261	—	261	—	171	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 143百万円 (△17.9%) 2019年3月期第2四半期 174百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.20	26.09
2019年3月期第2四半期	31.51	31.21

(注) 2018年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,343	2,924	87.5
2019年3月期	3,304	2,835	85.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,924百万円 2019年3月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,264	7.5	329	△31.5	329	△31.5	220	△25.0	40.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,888,800株	2019年3月期	6,888,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,410,716株	2019年3月期	1,410,716株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,478,084株	2019年3月期2Q	5,439,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2019年11月8日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な貿易摩擦や東アジアの政治情勢などの懸念材料はあるものの、国内企業の堅調な設備投資や良好な雇用環境を受けて、依然として緩やかな景気回復が続いています。

当社の創業事業である乗換案内サービスは、日常生活での人々の移動をサポートする、利用頻度の高いサービスとして世の中に広く定着しており、底堅い需要が継続しております。その一方で、『MaaS』(Mobility as a Service) と呼ばれる利用者の目的やし好に応じて最適な移動手段を提供し、利用者の利便性を高めるサービスが各交通機関の事業者において実証実験段階に入り、新たな市場が登場しつつあります。また、「働き方改革」に代表されるような、企業の生産性向上・業務効率化ニーズは、ますます高まりを見せております。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画において、『MaaS関連サービス』と『働き方改革に関わる業務ソリューション』を成長領域と設定し、技術開発・事業開拓の投資を積極的に進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,457,716千円(前年同四半期比2.1%減)、営業利益は214,127千円(前年同四半期比18.1%減)、経常利益は215,179千円(前年同四半期比17.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,512千円(前年同四半期比16.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンシューマ向け事業

コンシューマ向け事業につきましては、メディア広告・旅行業が好調に推移し、売上予想を上回る結果となりましたが、従来型の月額課金ビジネスについては、携帯販売事業者の動向により、集客プロモーションに影響が見られ、全体としては堅調な売上推移となりました。その結果、売上高は984,548千円(前年同四半期比3.3%減)、セグメント利益は204,066千円(前年同四半期比18.3%減)となりました。

② 法人向け事業

法人向け事業につきましては、中期経営計画の事業開拓領域である、システム開発受託の大口案件を受注し、売上に寄与したほか、業務効率化ソリューションのひとつである子会社「ビジネストラベルジャパン」の売上も計画を上回りました。その結果、売上高は473,167千円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は171,922千円(前年同四半期比4.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,916,395千円となり、前連結会計年度末に比べ26,303千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加16,631千円によるものであります。固定資産は427,059千円となり、前連結会計年度末に比べ13,001千円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加55,528千円、投資その他の資産の減少35,572千円によるものであります。この結果、総資産は3,343,455千円となり、前連結会計年度末に比べ39,304千円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は390,145千円となり、前連結会計年度末に比べ61,809千円減少しました。これは主に、買掛金の減少30,379千円、移転損失引当金の減少24,676千円、役員賞与引当金の減少21,266千円によるものであります。固定負債は29,136千円となり、前連結会計年度末に比べ12,382千円増加しました。これは主に、資産除去債務の増加24,053千円によるものであります。この結果、負債合計は419,282千円となり、前連結会計年度末に比べ49,426千円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,924,172千円となり、前連結会計年度末に比べ88,731千円増加しました。これは、利益剰余金の増加88,731千円によるものであります。この結果、自己資本比率は87.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,860	2,424,491
売掛金	455,411	438,807
仕掛品	—	580
原材料及び貯蔵品	73	60
その他	26,983	52,701
貸倒引当金	△236	△247
流動資産合計	2,890,092	2,916,395
固定資産		
有形固定資産	38,533	94,062
無形固定資産		
その他	128,149	121,194
無形固定資産合計	128,149	121,194
投資その他の資産	247,375	211,802
固定資産合計	414,058	427,059
資産合計	3,304,150	3,343,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,873	94,494
未払法人税等	63,641	77,287
賞与引当金	33,846	21,578
役員賞与引当金	21,266	—
移転損失引当金	24,676	—
資産除去債務	14,700	—
その他	168,950	196,785
流動負債合計	451,954	390,145
固定負債		
資産除去債務	—	24,053
その他	16,754	5,082
固定負債合計	16,754	29,136
負債合計	468,709	419,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	303,883	303,883
利益剰余金	2,965,066	3,053,798
自己株式	△725,465	△725,465
株主資本合計	2,835,441	2,924,172
純資産合計	2,835,441	2,924,172
負債純資産合計	3,304,150	3,343,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,489,433	1,457,716
売上原価	507,747	570,720
売上総利益	981,685	886,995
販売費及び一般管理費	720,148	672,868
営業利益	261,536	214,127
営業外収益		
受取利息	67	47
保険解約返戻金	33	—
未払配当金除斥益	18	87
協賛金収入	—	925
その他	3	40
営業外収益合計	122	1,101
営業外費用		
支払利息	251	49
営業外費用合計	251	49
経常利益	261,407	215,179
特別利益		
固定資産売却益	58	—
資産除去債務取崩益	756	—
特別利益合計	814	—
特別損失		
固定資産除却損	1,412	0
特別損失合計	1,412	0
税金等調整前四半期純利益	260,809	215,179
法人税等	86,080	71,667
四半期純利益	174,728	143,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,321	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,407	143,512

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	174,728	143,512
四半期包括利益	174,728	143,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,407	143,512
非支配株主に係る四半期包括利益	3,321	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	260,809	215,179
減価償却費	42,343	39,345
のれん償却額	863	863
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,172	△12,267
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,100	△21,266
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△24,676
受取利息	△67	△47
支払利息	251	49
固定資産売却損益 (△は益)	△58	—
固定資産除却損	1,412	0
資産除去債務取崩益	△756	—
売上債権の増減額 (△は増加)	53,943	16,604
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,845	△567
仕入債務の増減額 (△は減少)	678	△26,179
その他	△2,518	12,864
小計	315,740	199,911
利息の受取額	67	47
利息の支払額	△153	△49
法人税等の支払額	△74,664	△59,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	240,989	140,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,718	△51,277
有形固定資産の売却による収入	58	—
無形固定資産の取得による支出	△25,253	△17,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,913	△68,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40,000	—
ストックオプションの行使による収入	32,120	—
配当金の支払額	△54,339	△54,670
その他	△619	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,839	△55,308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	140,236	16,631
現金及び現金同等物の期首残高	2,311,794	2,407,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,452,031	2,424,491

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,018,585	470,847	1,489,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,018,585	470,847	1,489,433
セグメント利益	249,916	165,294	415,210

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	415,210
全社費用(注)	△153,673
四半期連結損益計算書の営業利益	261,536

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	984,548	473,167	1,457,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	984,548	473,167	1,457,716
セグメント利益	204,066	171,922	375,988

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	375,988
全社費用(注)	△161,861
四半期連結損益計算書の営業利益	214,127

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。